

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肺葉切除後における切除肺葉体積の残存肺拡張および全肺体積減少への影響	
1. 研究の目的と方法	肺葉切除は肺癌をはじめ、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍などの病気に対して行われます。肺葉切除後には肺の体積は減少しますが、残存肺が代償性に拡張します。以前私たちは残存肺の拡張が術後呼吸機能に影響する研究、左肺上葉切除は切除肺葉体積が大きい、残存肺体積の拡張が良く、全肺体積がそれほど減少しない研究を報告しました。切除肺葉体積の大きさは、残存肺の拡張に影響しており、その影響は肺体積の減少に与える影響よりも強いと推測されます。本研究により、肺葉切除において、切除肺葉体積が残存肺の拡張に影響するかどうか、また切除肺葉体積は、肺体積の減少よりも残存肺の拡張に強く影響するかどうかを明らかにすることを目的としています。対象患者さんの術前と術後1年の肺体積の測定を行い、切除肺葉体積比（切除肺葉体積/術前全肺体積）と残存肺体積増加比（術後全肺体積/術前残存肺体積）、全肺体積減少比（術後全肺体積/術前全肺体積）、それぞれとの関連を調べます。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2016年1月1日～2023年12月31日の間に、附属病院にて肺葉切除を受け、手術の前後で呼吸機能検査を施行された20歳以上の方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	性別、年齢、身長、体重、BMI、喫煙歴、喫煙指数、術前呼吸機能、術前CT、術前全肺体積、術前各肺葉体積、併存疾患の詳細、治療疾患、肺切除既往の有無、術式、手術時間、出血量、癒着などの術中所見、肺切除に用いた自動縫合器の数、術後合併症の詳細、術後合併症に対する治療、ドレーン留置期間、術後在院日数、術後補助療法の詳細、術後CT、術後肺体積、術後各肺葉体積
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科
	氏名	柴崎 隆正
(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	

	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 塚本遥
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年4月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 研究責任者：助教 柴崎 隆正（しばざき たかまさ） 電話番号：070-3914-1293（内線 2890） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。